

# OMU Students 海外留学レポート



氏名 渡辺 空哉  
所属 文学部 言語文化学科  
学年 3年

留学先 アイルランド (ダブリンシティ大学)  
留学期間 2022/9月~2023/5月

## 留学レポート Study Abroad Report

こんにちは、大阪公立大学3年生の渡辺空哉です。僕は交換留学制度を使って、2022年9月から2023年5月まで、約9ヶ月の間アイルランドのダブリンシティ大学に留学していました。今回は、アイルランドやダブリンシティ大学、また留学中の実際の生活について紹介したいと思います。

### 1. アイルランドについて

まず始めに、アイルランドについて紹介していきます。アイルランドはヨーロッパ、イギリスの横にある島国で、あまり馴染みのないという人がほとんどだと思います。アイルランドは基本的に自然が豊かな国で、観光名所が各地にあります。僕が生活していた首都のダブリンは、落ち着いた雰囲気です。住宅街が多くあり、ヨーロッパの他の国に比べて、比較的 안전한街でした。中心部は栄えていて、ショッピングセンターやレストランなどがたくさんあり、基本的にいついっても人が溢れかえっていました。今回は主に①気候、②交通手段、③物価の3つに関して紹介しようと思います。

#### ① 気候

アイルランドと聞いてイメージする人も多いと思いますが、アイルランドは基本的に日本より寒く、雨が多くなっています。僕が留学していた9月から5月までは、基本的にTシャツを着る機会はなく、11月頃から2月頃までは、大阪では経験したことがないくらい寒かったです。また雨がとても多く、現地ではあまりに雨が多いので逆に傘を差さずに、防水コートを着て過ごしている人がほとんどでした。最初はこの気候で戸惑うことが多くありましたが、時間が経つとすぐに慣れてきます。

#### ② 交通手段

アイルランド、特にダブリン内では、基本的に移動手段はバスで、学生なら1回1ユーロと比較的安く利用できます。バスを使えば基本どこにでも移動でき、とても便利です。

#### ③ 物価

僕が留学していた時期は、ちょうど円安で物価が通常よりもかなり高くなっていました。レストランで外食するとかかなり高いです。ですがスーパーで食材を買えば比較的安いので、自炊をすることが多かったんです。それでも日本より物価は高いので、安く買える食材を探すなど工夫して食費を抑えている人が多かったんです。

## 2. ダブリンシティ大学について

次に、僕が通っていたダブリンシティ大学について紹介します。ダブリンシティ大学は、中心部からバスで20分ほどのところにあり、キャンパスはとても広く、ジムやフットサルコート、図書館、パブもありとても綺麗です。今回はダブリンシティ大学の特徴として、①多国籍、②色々な授業が取れる、③サークルの種類が多い、という3つを紹介します。

### ① 多国籍

ダブリンシティ大学には、世界中からたくさんの方が留学しているので、スペイン、フランス、イタリアなどヨーロッパの国の他に、アメリカ、韓国、中国、インド、ブラジルなど様々な国からの留学生と交流を持つことができます。1ページ目の写真は、僕が住んでいた寮の写真ですが、イタリア、インド、メキシコ、アルベニア、ブラジルなど多国籍なルームメイトと住むことができ、とても良い経験になりました。

### ② 様々な分野の授業

基本的に、大阪公立大学の交換留学でダブリンシティ大学へ留学すると、人文・社会科学部に所属することになりますが、この学部では色々な分野の授業を受講することができるので、とても良い経験ができます。僕の場合は、心理学や犯罪学、国際関係学などの授業を受講していました。普段の自分の専攻とは違う分野の授業を受講できるのは、留学ならではの経験だと思います。

### ③ サークル

ダブリンシティ大学には、たくさんの種類のサークルがあり、最初に参加費として4ユーロ払えば、基本的に用具など必要なしで1年間参加することができます。雰囲気もそこまで厳しくないため、趣味程度で参加できるサークルがほとんどです。僕自身も、バドミントン、アルティメット・フリスビー、チャイニーズサークルなど色々なサークルに所属していましたが、どれも未経験から参加可能で友達もできやすいので、参加して良かったと思います。

## 3. 留学中の生活

最後に、留学中の僕の生活を紹介します。基本的に留学中は、授業が中心でバイトをする機会がなかったので、日本に比べて比較的自由な時間が多い印象でした。そのため自分の意識次第でたくさんを経験することもできるし、逆に暇な時間が多くなってしまいう可能性もあると思いました。授業以外には、サークル活動、ジム、友達と外食、パーティー、イベント、ボランティア、国外旅行などをして自由な時間を過ごしていました。留学生は基本的にオンキャンパスの寮か、大学近くに住んでいるため、寮の共有リビングでパーティーが開かれることが多く、そこで知り合った人も多くいました。またアイルランドはヨーロッパにあるため、ヨーロッパの色々な国に旅行することができます。大学内のパブでは毎週イベントが開かれている他、ダブリン市内にはボランティア活動ができる団体があるので、自由な時間に参加することができます。

## 4. 最後に

留学を通してたくさんを経験することができました。渡航前、留学中にはたくさん大変なことがありましたが、海外留学でしか経験できないことがたくさんあり、留学を終えた今、留学をして良かったと思っています。アイルランドへの留学を考えている方がいれば、この留学レポートが参考になれば幸いです！